

令和4年度 池・水路自然環境調査

1 調査場所の概要

① 古隅田川 (小菅4丁目先)

流れの景観保存、自然の再生を目指して整備した。豊かな自然の姿が見られる。自然再生区域の1つ。



④ 大場川中州 (西水元6丁目22番先)

干潮時には左岸側に干潟が現れ、シギ・チドリやサギ類などの採餌場となっている。自然保護区域の一つ。



② 四つ木めだかの小道 (四つ木2丁目先)

人工水路ではあるが、杭や土工により流れに変化を持たせ、よどみやゆるい瀬なども見られる。自然再生区域の一つ。



③ どんぱち池 (東金町5丁目53番先)

区内最大の緑地である水元公園内に位置しており、都内唯一のアサザの自生地となっている。



2 水質調査結果

①古隅田川（小菅4丁目）

区分		調査地点	古隅田川				平均
		調査月日	5/19	8/3	11/9	2/1	
		採水時刻(時:分)	13:00	13:45	12:50	14:10	
一般項目	現場測定項目	天候	晴	晴	晴	晴	-
		気温(°C)	28.7	37.6	17.6	13.5	24.4
		流向	西(順流)	西(順流)	西(順流)	西(順流)	-
		水温(°C)	27.5	32.0	17.3	8.5	21.3
		色相	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	-
		臭気	極微土臭	微下水臭	極微土臭	微土臭	-
		透視度(cm)	45	34	45	22	37
	生活環境項目	pH	7.8	7.7	7.8	7.7	7.8
		DO(mg/l)	7.5	6.0	8.0	10.3	8.0
		BOD(mg/l)	1.5	1.3	1.0	6.1	2.5
		COD(mg/l)	4.9	4.5	4.9	9.4	5.9
		SS(mg/l)	10	5	16	15	12
		全窒素T-N(mg/l)	1.73	1.13	3.45	8.99	3.83
		全りんT-P(mg/l)	0.214	0.264	0.173	0.279	0.233
その他	アンモニア性窒素NH ₄ -N(mg/l)	0.01	0.07	0.04	1.84	0.49	
	亜硝酸性窒素NO ₂ -N(mg/l)	0.018	0.008	0.021	0.075	0.031	
	硝酸性窒素NO ₃ -N(mg/l)	1.71	0.85	3.08	5.18	2.71	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/l)	1.72	0.858	3.10	5.25	2.73	
	クロロフィルa(mg/m ³)	-	4.2	-	109	56.6	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

②四つ木めだかの小道（四つ木2丁目先）

区分		調査地点	四つ木めだかの小道				平均
		調査月日	5/19	8/3	11/9	2/1	
		採水時刻(時:分)	9:30	8:45	9:20	9:00	
一般項目	現場測定項目	天候	晴	晴	晴	晴	-
		気温(°C)	25.3	33.4	16.9	4.4	20
		流向	南西 (順流)	南西 (順流)	南西 (順流)	南西 (順流)	-
		水温(°C)	23.4	28.5	16.3	6.3	18.6
		色相	淡灰黄緑色	淡黄色	淡黄緑色	淡黄緑色	-
		臭気	極微土臭	微土臭	微土臭	微草臭	-
		透視度(cm)	24	28	30	78	40
	生活環境項目	pH	7.9	7.8	7.9	7.9	7.9
		DO(mg/l)	8.8	6.3	8.9	10.9	8.7
		BOD(mg/l)	1.2	0.9	0.9	2.0	1.3
		COD(mg/l)	5.9	4.7	4.8	5.0	5.1
		SS(mg/l)	31	21	14	3	17
		全窒素T-N(mg/l)	1.48	1.02	3.46	2.75	2.18
		全りんT-P(mg/l)	0.282	0.345	0.322	1.01	0.490
その他	アンモニア性窒素NH ₄ -N(mg/l)	0.03	0.06	0.03	0.04	0.04	
	亜硝酸性窒素NO ₂ -N(mg/l)	0.052	0.012	0.007	0.015	0.022	
	硝酸性窒素NO ₃ -N(mg/l)	1.57	0.72	3.12	2.37	1.95	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/l)	1.62	0.732	3.12	2.38	1.96	
	クロロフィルa(mg/m ³)	-	3.5	-	2.2	2.9	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

※1 中川本流に水上バイクが走っていたため、波がワンド内に流入していた。

※2 引き潮の影響で川面の高さが低くなっていたため、採取位置から本流に向けて水の流れがあった。

※3 また、大型船が複数回通過したため、底泥が巻き上がり、濁りが発生した。ワンドと接する中川から河川水が流入していた。採水位置周辺を除き、ワンド内は水が引いて干潟状だった。

③ごんぱち池（東金町5丁目53番先）

区分		調査地点	ごんぱち池				平均
		調査月日	5/20	8/3	11/8	2/1	
		採水時刻(時:分)	9:30	10:30	13:00	11:00	
一般項目	現場測定項目	天候	晴	晴	晴	薄曇	-
		気温(℃)	26.6	35.4	17.2	10.8	22.5
		流向	停止	停止	停止	停止	-
		水温(℃)	25.0	36.5	16.9	8.2	21.7
		色相	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄色	-
		臭気	微藻臭	微藻臭	極微土臭	微土臭	-
		透視度(cm)	33	29	43	44	37
	生活環境項目	pH	7.6	8.9	8.1	7.7	8.1
		DO(mg/l)	2.0	11.2	11.0	11.8	9
		BOD(mg/l)	13	3.1	3.3	3.9	5.8
		COD(mg/l)	22	10.5	9.3	8.5	12.6
		SS(mg/l)	33	7	8	4	13
		全窒素 T-N(mg/l)	3.03	0.74	0.62	0.82	1.30
		全りん T-P(mg/l)	1.33	0.049	0.040	0.035	0.363
その他	アンモニア性窒素 NH ₄ -N(mg/l)	<0.01	0.02	<0.01	0.13	0.04	
	亜硝酸性窒素 NO ₂ -N(mg/l)	<0.002	<0.002	<0.002	0.004	<0.002	
	硝酸性窒素 NO ₃ -N(mg/l)	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/l)	<0.012	<0.012	<0.012	0.014	<0.012	
	クロロフィルa(mg/m ³)	-	13.8	-	14.8	14.3	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

④大場川中州（西水元6丁目22番先）

区分		調査地点	大場川中州				平均
		調査月日	5/20	8/3	11/8	2/1	
		採水時刻(時:分)	13:00	11:55	9:30	12:10	
一般項目	現場測定項目	天候	薄曇	晴	晴	薄曇	-
		気温(℃)	27.1	37.4	18.3	11.9	23.7
		流向	南(順流)	南(順流)	南(順流)	南(順流)	-
		水温(℃)	25.0	35.5	17.7	9.0	21.8
		色相	淡黄緑色	淡黄色	淡黄緑色	淡黄色	-
		臭気	微土臭	微下水臭	極微土臭	微下水臭	-
		透視度(cm)	24	23	29	31	27
	生活環境項目	pH	7.3	7.6	7.4	7.6	7.5
		DO(mg/l)	5.8	7.4	6.5	13.1	8.2
		BOD(mg/l)	2.2	1.9	1.4	5.7	2.8
		COD(mg/l)	5.5	6.2	5.9	9.3	6.7
		SS(mg/l)	22	16	24	16	20
		全窒素 T-N(mg/l)	1.96	1.43	5.55	8.91	4.46
		全りん T-P(mg/l)	0.184	0.198	0.227	0.382	0.248
その他	アンモニア性窒素 NH ₄ -N(mg/l)	0.29	0.05	0.42	3.74	1.13	
	亜硝酸性窒素 NO ₂ -N(mg/l)	0.052	0.029	0.108	0.183	0.093	
	硝酸性窒素 NO ₃ -N(mg/l)	1.00	1.00	4.27	3.72	2.50	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/l)	1.05	1.02	4.37	3.90	2.59	
	クロロフィルa(mg/m ³)	-	44.3	-	71.6	58.0	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

3 魚類調査結果

十は、おおむね11～99個体 十十は、おおむね100個体以上

No.	目名	科名	種名	調査地点										希少種		かつしからしさ	注意が必要な種	生態系被害防止外来種リスト	備考			
				① 古隅田川		② 四つ木めだかの小道		③ ごんぼち池		④ 大場川中洲		⑤ 綾瀬川 (東四つ木避難橋付近)		環境省RL	東京都RL(区部)							
				5/19	11/9	5/19	11/9	5/20	11/8	5/20	11/8	7/14	10/11									
1	コイ	コイ	コイ(型不明)	2	7																	
2			フナ属	1	6			9	2													
3			バラタナゴ属					1														
4			タイリクバラタナゴ						3													重点
5			オイカワ								3						DD					
6			マルタ										1			NT						
7			モツゴ			1		7	7													
8			タモロコ							+												
9			スゴモロコ									3				×						
10			ドジョウ	ドジョウ属					+													
11	ボラ	ボラ	ボラ							+	5	+	+									
12	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	1	+	++	+												●	重点		
13	ダツ	メダカ	ミナミメダカ			+	+			+	3			VU	CR	○						
14			メダカ属(飼育品種)				2															
15	スズキ	スズキ	スズキ							2		2	1									
16	サンフィッシュ	ブルーギル	ブルーギル	2	+			4	+		1								●	緊急		
17			オオクチバス	1	2															●	緊急	
18	タイ	クロダイ	クロダイ									1										
19	ハゼ	マハゼ	マハゼ							+	5	+							○			
20			アシシロハゼ								+	2		2		NT						
21			アベハゼ									1				NT						
22			シモフリシマハゼ											3	3							
23			スマチチブ									7	5	4		NT						
24			クロダハゼ					+	3							DD						
25			ウキゴリ属									3										
合計 5目 9科 25種				5種	5種	3種	3種	6種	6種	8種	8種	7種	4種	1種	7種	2種	3種	4種				
				5種		4種		8種		11種		8種										

- ※ 表中の数字は確認個体数を表す。+: おおむね11～99個体 ++: おおむね100個体以上
- ※ 目、科、種名及び配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(R02年度版)」(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/mizukokuweb/system/seibutsulistfile.htm>)に従った。
- ※ 環境省RL: 「環境省レッドリスト2020 汽水・淡水魚類」(環境省)の掲載種。
(VU: 準絶滅危惧、×: 掲載種であるが移入による分布)
- ※ 東京都RL: 「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)2020版」(東京都)の掲載種。
(CR: 絶滅危惧IA類、NT: 準絶滅危惧、DD: 準絶滅危惧)
- ※ かつしからしさ: 「生物多様性かつしからしさを指標する種」に該当する種。(○: 該当種)
- ※ 注意が必要な種: 「生物多様性かつしからしさを指標する種」に該当する種。(●: 特定外来生物)
- ※ 生態系被害防止外来種: 生態系被害防止外来種リスト(環境省、2015)に掲載されている種。
(緊急: 緊急対策外来種、重点: 重点対策外来種)



ヌマチチブ
(準絶滅危惧)



カダヤシ
(特定外来生物)

4 水生昆虫・底生動物、野鳥等

調査地点	水生昆虫・底生生物等	野鳥
古隅田川	(水生昆虫)アオモンイトトンボ属、アメンボ科、アメンボ、チビミズムシ属、ユスリカ科、ヒメゲンゴロウ (底生動物)カワザンショウガイ科、モノアラガイ科、サカマキガイ、ヒラマキガイ科、イトミミズ目、イシビル科、ヒル綱、ヒロリダマミズヨコエビ、カワリヌマエビ属、 アメリカザリガニ	カルガモ、カワラバト(ドバト)、キジバト、アオサギ、オナガ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、スズメ
四つ木 めだかの小道	(水生昆虫)シオカラトンボ、アメンボ、ヒメアメンボ、コミズムシ属、シマトビケラ科、ユスリカ科 (底生動物)ヒメモノアラガイ、 カワヒバリガイ 、シジミ属、マシジミ亜属、イトミミズ目、ハマトビムシ科、フロリダマミズヨコエビ、カワリヌマエビ属、チュウゴクスジエビ、 アメリカザリガニ	カワラバト(ドバト)、アオサギ、オナガ、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ
ごんぱち池	(水生昆虫)アオモンイトトンボ属、ギンヤンマ、シヨウジョウトンボ、コシアキトンボ、アメンボ、エサキアメンボ、ヒメアメンボ属、ババアメンボ、ハネナシアメンボ、ヒメイトアメンボ、ミズカメムシ属、カタビロアメンボ科、ケシカタビロアメンボ属、メミズムシ、ユスリカ科、ハエ亜目、チビゲンゴロウ属、ヒメゲンゴロウ、ガムシ科 (底生動物)ヒメタニシ、ハブタエモノアラガイ、サカマキガイ、フロリダマミズヨコエビ、カワリヌマエビ属、スジエビ、 アメリカザリガニ	ヒドリガモ、コガモ、カイツブリ、カワラバト(ドバト)、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、ノスリ、カワセミ、オナガ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ
大場川中州	(水生昆虫)アメンボ、ユスリカ科 (底生動物)ヒメタニシ、 カワヒバリガイ 、マルドブガイ、ヌマガイ、シジミ属、マシジミ属、カワゴカイ属、ヒラタビル科、イソコツブムシ属、カワリヌマエビ属、テナガエビ、シラタエビ、スジエビ、クロベンケイガニ、ベンケイガニ、モクスガニ	カルガモ、カワラバト(ドバト)、カワウ、アオサギ、コサギ、コチドリ、イソシギ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ



カワヒバリガイ
(特定外来生物)



クロベンケイガニ
(留意種)